

ALOS-2 の SAR で見つかった平成 28 年熊本地震による地表断層群

藤原 智 (国土地理院)

ポイント

- 熊本地震の地殻変動を人工衛星「だいち 2 号」のレーダー観測で詳細に可視化
- 地殻変動には、地震を引き起こした主要な断層運動によるものだけでなく、
 - ✓ 細かい線状の変位が数多く存在
 - ✓ これらは地表付近での小規模な断層運動であり、その数は 230 程存在
 - ✓ 一部は既知の活断層と一致し、変位は過去から蓄積
- こうした地表断層は地震動を出しておらず、熊本地震に誘発され、受動的に動いた「お付き合い断層」が大部分
- 「活断層」とは何なのかを、理学面・防災面から再検討すべき

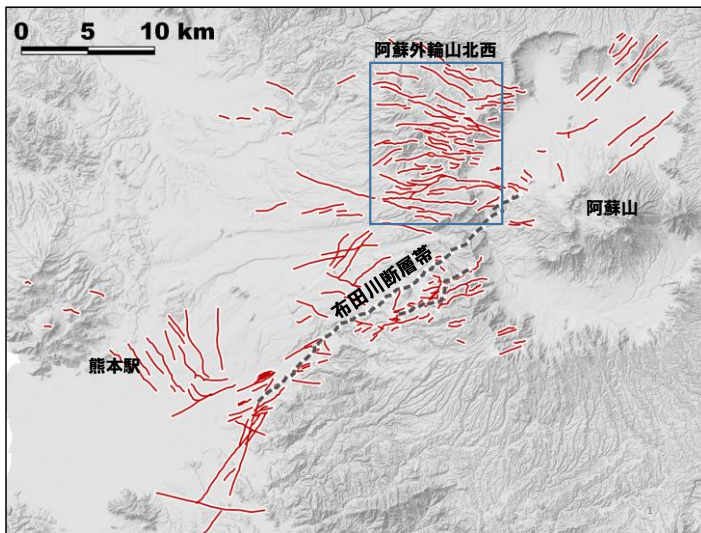


図 1 熊本地震に伴って出現した地表断層群
だいち 2 号 (ALOS-2) の SAR 干渉画像から地表変位が直線的に不連続となるものを抽出

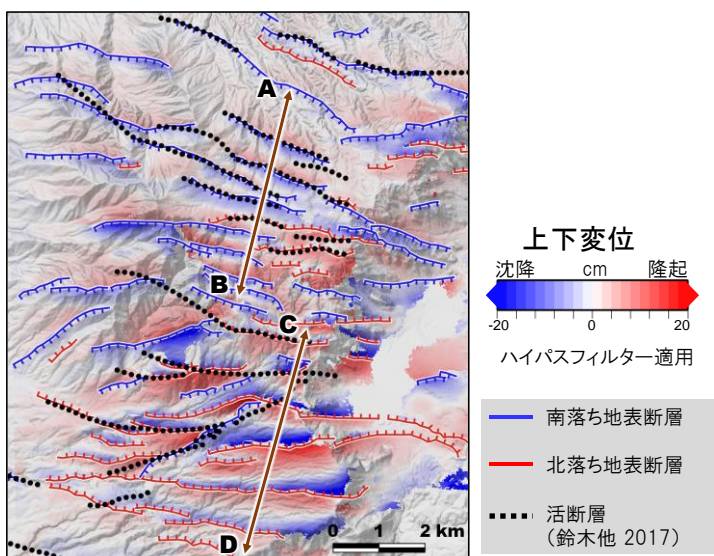


図 2 阿蘇外輪山北西における上下変位及び従来の手法による活断層位置

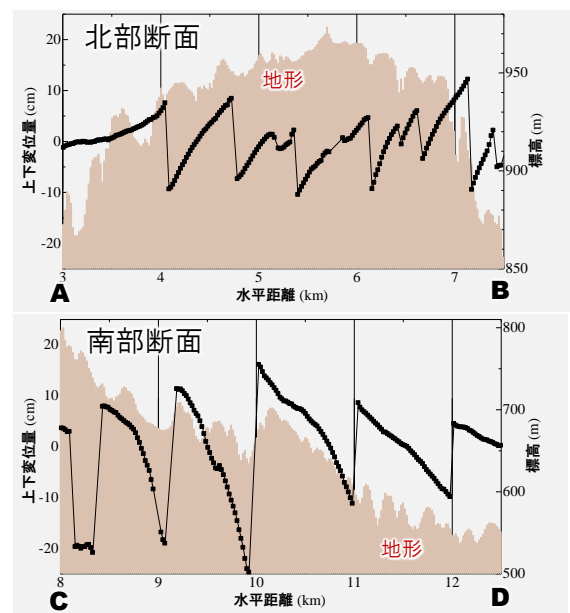


図 3 図 2 中の上下変位と地形の断面図